

リスクアセスメント & 作業手順書

工事名称	2025年度 東海北陸自動車道 高山管内維持修繕業務		作成会社名	中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋㈱		
工期	令和7年4月1日 ~ 令和8年3月31日		作成者	加藤 雅人		
作業名称	橋梁集水マス清掃	作業手順書	作成年月日	令和4年5月6日		
使用機械 使用設備	高圧洗浄車両、小型吸引機付き2tD/T、緩衝車両(標識車or散水車)、トイレカー		改正年月日	令和4年6月30日		
使用工具、機器	スコップ、ほうき、パール、ブロワー、インバウト(24)		現場責任者			
			協力会社	会社名		
保護具	ヘルメット、安全靴、脚絆、マスク、手袋、視認性の良い作業着		協力会社責任者	自署サイン		
材料			作業順序			
免許・資格等 (免)(技)(特)(準特) の区別を記す	自動車運転免許証				1	事前準備
	振動工具取扱作業教育				2	出発～現場
作業人員	作業責任者 1人、作業員 4～5名、保安員 2人				3	橋梁集水マス清掃
	合計 7～8 名				4	後片付け
作業手順 周知会 参加者 サイン (記録)	作業責任者(職長)	周知会実施日			5	現場離脱
	(役割を確認してこの作業に関わる全員が自署サインする)				6	

リスクの見積り	重大性			組み合わせ	リスクの評価	優先度又は実施担当者
	○:軽微 休業4日未満	△:重症 休業4日以上	×:極めて重大 死亡・障害を伴う			
可能性	○:めったに発生しない (5年に1回程度)	○△	○×	○○	1:極めて小さい	関係者に対策の周知
	△:時々発生する (1年に1回程度)	△△	△×	○△、△○	2:かなり小さい	関係者に対策の指示
	×:かなり発生する (6ヶ月に1回程度)	×△	××	○×、△△、×△	3:中程度	職長が確認
				△×、×△	4:かなり大きい	工事担当責任者が確認
				××	5:極めて大きい	十分に訓練をした対策が必要

リスクレベル 5=十分に訓練をした対策が必要 4=工事担当責任者が確認 3=職長が確認 2=関係者に対策の指示 1=関係者に対策の周知

作業項目 (誰が)	手順 主なステップ	急所 作業のポイント	リスクの洗い出し (予想されるミス・ロス)	可能性	重大性	評価点	リスクレベル ミス・ロス	リスクの除去・低減のための 実施すべき事項の特定 (防止対策)
準備作業(全員)			健康状態の確認・免許・資格等の確認・光物(チョッキ・脚絆・ヘッドライト等)の充電確認・業務用プレートの確認、入場方法・入場箇所・車両順番・役割分担の確認・車両の始業前点検・工具の確認、積み込み荷の確認(落下・飛散対策)荷締めめの位置、荷台のネット・シート掛けの確認する。 工事車両幕がロープ及び養生テープで確実に固定されていることを確認。 担当者は施工計画段階でNEXCOと打合せした内容を作業員へ周知・報告すること。 車両出入庫の際に、運転手は車両の周囲(上下含む)を指差し、障害物が無い事を確認のうえ、出入庫する。					
現地確認(全員)	作業箇所確認	危険ポイントの確認						
	ケーブル等周辺安全確認 (埋設物・構造物)	管理用図面で事前確認	図面がない露出ケーブルを剣スコップや鎌で損傷させる	△	×	△×	4	安 作業前に全員で現場を確認し、ケーブルの有無を全員が把握する
事前準備	出発前の車両点検及び道具の準備	忘れ物がないよう全員で準備を行う	重量物を降ろしたり運ぶ際に腰を痛める	×	○	×○	3	安 重量物を運ぶ際は、2名以上で声を掛け合いながら運ぶ。
出発～現場	規制内への流入する	事前に規制責任者へ報告	規制内流入時、一般車が規制内へ誤進入し、保安員と接触する	○	×	○×	3	安 回転灯、ハザード、ウインカーの順でルールを守る
橋梁集水マス清掃	橋梁集水マスの蓋を取り外す	走行中の一般車に対して正対方向で作業を行うこと	マスを開ける際に1人で無理をし腰等を痛めたり、指を挟む	△	△	△△	3	安 パール等使用し2人以上での作業を行う
	人力でマス付近を清掃後噴霧機等で再度清掃	保安員の合図に従い、一般車への飛散を防止すること	清掃中、排水溝やマスに足を取られて転倒する	△	△	△△	3	安 作業をする足元を確認して作業を行う
			高圧洗浄機のホースでつまずき転倒する	○	×	○×	3	安 高圧洗浄機のホースを使用する際は、車両に固定してつまずき防止対策を行う。
	清切等も堆積物があれば清掃を行う	改善されないようであれば小型、大型吸引車両による吸い上げを行う	水が飛散し、一般車へかかる	△	○	△○	2	安 水を扱う際は通行車両等への飛散が無いよう、圧の調整や保護を実施する
	ブロワーまたは帚等で仕上げを行う		一般車が規制内へ誤進入し、作業員と接触する	○	×	○×	3	安 作業時は正対作業を行い一般車に留意する。緩衝車両を現場60m手前に配置すること。
	清掃終了後、完了した数量を確認する	大きい石がある場合に転がっていかないようにする	除去した石や堆積物が下に転がり人や構造物に当たる	×	○	×○	3	安 除去物を置く場所の確認。本線側には置かないこと。
後片付け	忘れ物がないか、全員で最後に現場周りを確認							
現場離脱	現場から離脱する	安全に離脱する	一般車との接触する。	△	×	△×	4	安 保安員の合図で現場規制内から離脱する
			荷台から物を落とし、一般車に当たる	×	△	×△	2	安 現場離脱前に必ず荷台の点検・確認を行うこと。
								工事車両幕を取外した場合は専用のケースに確実に格納し車内に保管する事